

# 高機能JIS等整備事業

平成28年度概算要求額 7.5億円（5.0億円）

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 我が国製造業が強みを持つ高機能材料や製品などの差別化や更なる技術レベルの向上を目指すため、ミニマム標準よりも高いレベルの性能・特性を等級別に盛り込んだJIS（高機能JIS）の開発を行います。
- また、既存の業界団体の枠を超えた融合技術や先端技術などによって新市場創造・拡大に資するJISの開発を行います。
- さらに、消費者保護、高齢者・障害者配慮など社会ニーズが高く安全・安心な社会形成等に資するJISの開発を行います。
- 加えてJISマーク認証等の活用を促進するとともに、信頼性の確保を図る。

### 成果目標

- 平成26年度から平成30年度までの5年間の事業であり、最終的には250件のJIS制定を目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）

国

委託

民間団体等

## 事業イメージ

### JISの高機能化のイメージ

製品の特性  
(例: 密度、環境性能、リサイクル容易性など)

F社

E社

D社

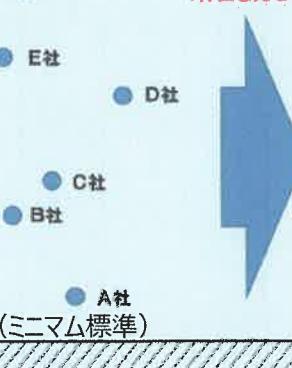
C社

B社

A社

JIS（ミニマム標準）

JIS自体の高機能化  
(特性を見せる)



製品の特性  
(例: 密度、環境性能、リサイクル容易性など)

(高機能JIS)  
JIS IV

(高機能JIS)  
JIS III

(高機能JIS)  
JIS II

JIS I (ミニマム標準)

F社

E社

D社

C社

B社

A社

### 高機能JISの開発中の事例：形態安定加工繊維製品



シワが多い



シワがない

1級

2級

3級

4級

5級

洗濯の水温、回数、乾燥等の条件を規定し、洗濯後のシワの状態から等級分けを行う。